

市の事務事業における
温室効果ガス排出量について
(最新年度:令和5年度)

市の事務事業の温室効果ガス排出量の削減目標

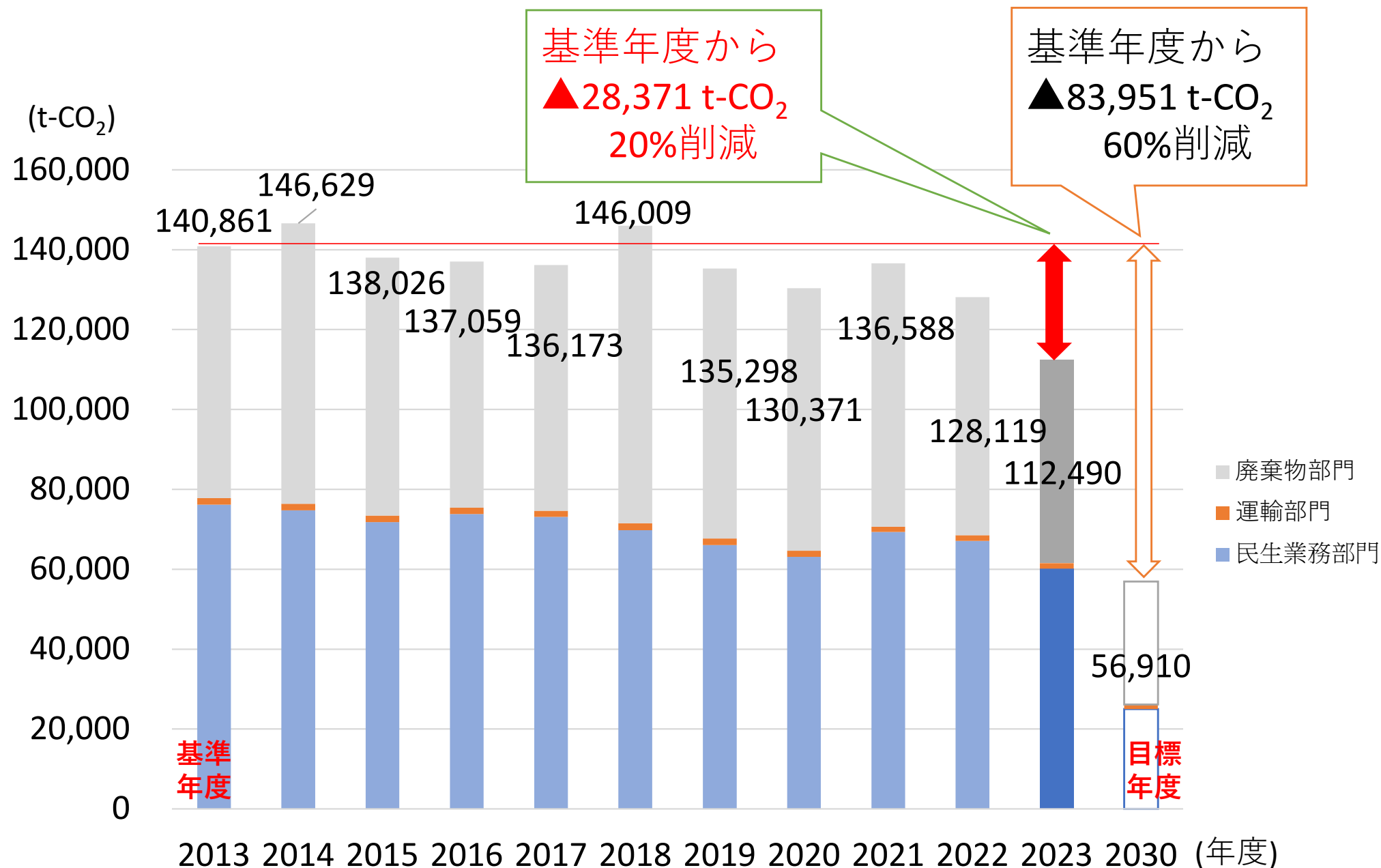
2030年度における温室効果ガス排出量を、2013年度比で60%削減する。

■ 事務事業の温室効果ガス排出削減目標の詳細

(t-CO₂)

	2013年度 (基準年度)	2030年度 (目標値)	削減量	削減率
民生業務部門	76,124	24,982	▲ 51,142	▲ 67%
運輸部門	1,651	1,126	▲ 525	▲ 32%
廃棄物部門	63,085	30,800	▲ 32,285	▲ 51%
合計	140,861	56,910	▲ 83,951	▲ 60%

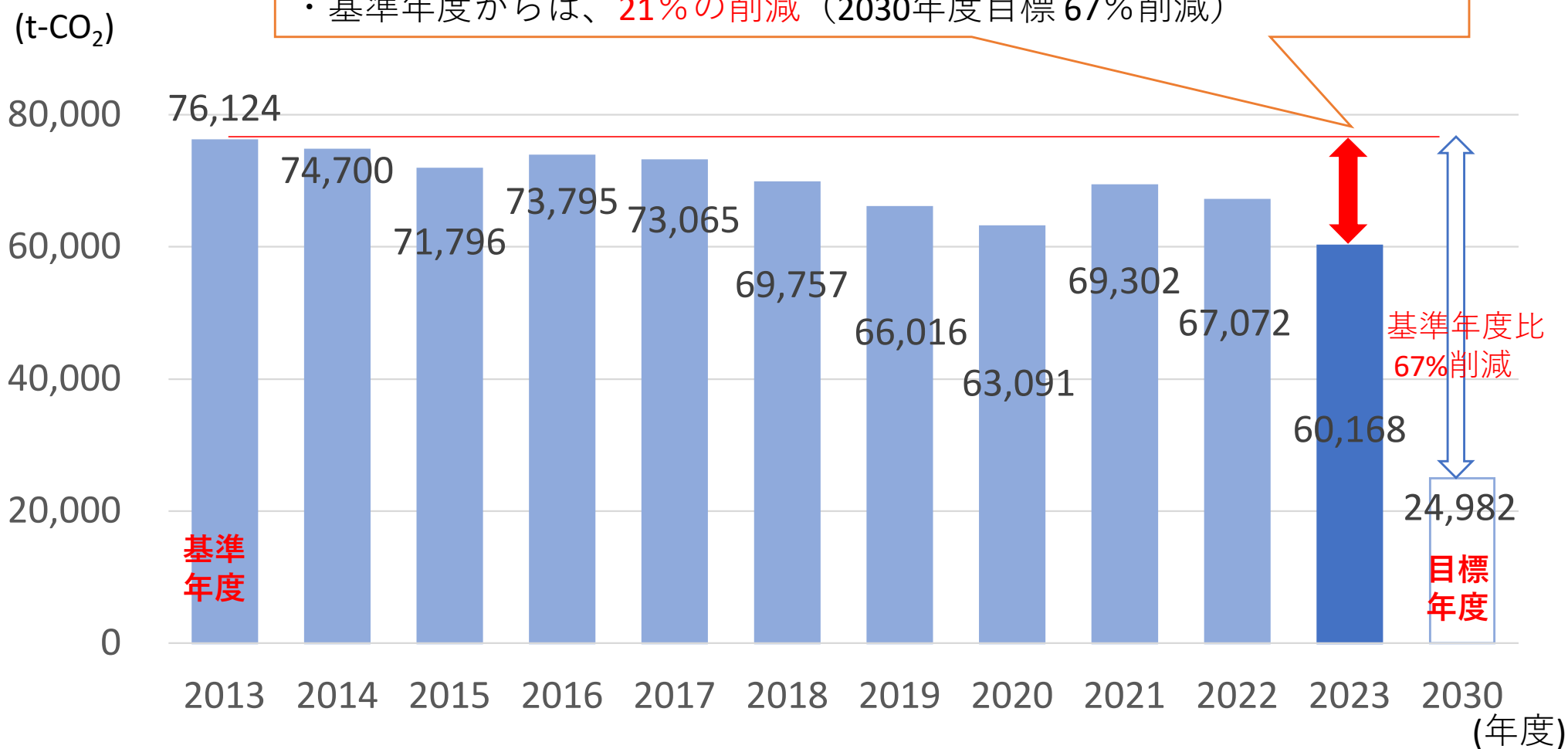
市の事務事業の温室効果ガス総排出量



市の事務事業の温室効果ガス排出量の内訳(民生業務部門)

前年度との比較

- ・ **6,904 t-CO₂減少**
- ・ 契約電力会社に応じた排出係数を適用
- ・ 2023年8月より、廃棄物の焼却により発電した電気を**自己託送**により市庁舎等で活用している
- ・ 基準年度からは、**21%の削減** (2030年度目標 **67%削減**)



市の事務事業の温室効果ガス排出量の内訳(運輸部門)

前年度との比較

- ・ 10 t-CO₂減少で、ほぼ横ばい
- ・ 基準年度からは、16%の削減 (2030年度目標 32%削減)

(t-CO₂)

2,000

1,500

1,000

500

0

1,651

1,639

1,594

1,577

1,566

1,740

1,669

1,485

1,332

1,396

1,386

基準年度比
32%削減

1,126

目標
年度

2013

2014

2015

2016

2017

2018

2019

2020

2021

2022

2023

2030

(年度)

基準
年度

市の事務事業の温室効果ガス排出量の内訳(廃棄物部門)

前年度との比較

- ・ **8,714 t-CO₂減少**
- ・ プラスチックごみの焼却による排出が大半を占めており、
2022年から開始した**プラスチック製容器包装の分別回収等の効果**
が要因と考えられる
- ・ 基準年度からは、**19%の削減** (2030年度目標 **51%削減**)

